

九州運輸局メールマガジン

平成22年2月10日 第69号(発行日:毎週木曜日)

~九州の明日を拓く運輸と観光~

九州運輸局HPアドレス <http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

九州運輸局メールマガジンをご覧いただきありがとうございます。
今週は木曜日が祝日のため、水曜日に配信しています。

目次

- 1.九州運輸局ホームページアップ情報(2月4日~2月9日掲載分)
プレス発表
入札・契約情報
行政処分状況
お知らせ
バス・タクシー・トラック
- 2.お知らせ
- 3.現場レポート
「中国における訪日旅行市場の動向に関するセミナー」を開催!
- 4.九州運輸局セミナー
クルマの街頭検査にご協力ください!
- 5.リレーコラム
- 6.編集長だより

【九州運輸局ホームページアップ情報】(2月4日~2月9日掲載分)

プレス発表

《観光》

- ・地域いきいき観光まちづくり2009を作成しました(2月4日発表)

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press100204_1.pdf

《交通環境》

- ・バリアフリー推進セミナーを開催します(2月9日発表)

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press100209_1.pdf

《自動車》

- ・一般貨物自動車運送事業者に対する事業停止処分(2月4日発表)

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press100204_2.pdf

入札・契約情報

- ・企画競争実施公示

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list2.html#KIKAKU_KOUJI

- ・物品役務入札公示

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#BUPPIN_CHOTATSU

- ・契約結果に係る情報の公表(随意契約平成21年12月分)

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/keiyaku_kekka/0912.pdf

行政処分状況

- ・一般貸切旅客自動車運送事業者の行政処分状況(平成22年1月分)

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/kasikiri/pdf/kasikiri10_01.pdf

- ・一般乗用旅客自動車運送事業者の行政処分状況(平成22年1月分)

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/jyouyou/pdf/jyouyou10_01.pdf

- ・一般貨物自動車運送事業者の行政処分状況(過積載を除く)(平成22年1月分)

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/KAMOTU/pdf/kamotu10_01.pdf

- ・一般貨物自動車運送事業者の行政処分状況(過積載に限る)(平成22年1月分)

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/KAMOTU/pdf/kasekisai10_01.pdf

お知らせ

・平成21年度第2回自動車運送事業者の無事故表彰(平成22年1月28日表彰)
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/file001_021/file056/220128.pdf

バス・タクシー・トラック

・自家用有償運送関係公示等
(地域公共交通会議に関する国土交通省としての考え方について(差替))
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/jidousya_k/file14/jika05_1.pdf

【お知らせ】

九州物流セミナー2010を開催します
～地球環境にやさしい物流をめざして～

我が国は、2020年に温室効果ガスを1990年比で25%削減するとの目標を掲げました。政府ではこれを受けて、「チャレンジ25キャンペーン」を開始しており、CO2の少ない生活スタイルの提案やチャレンジ25関連政策の情報提供などを通じた運動が展開されているところです。このような状況のなか、物流部門においても環境問題への対応は緊急の課題となっています。

九州運輸局(後援：九州経済産業局)では物流の効率化の先進的な取組事例を紹介する「九州物流セミナー2010」を下記のとおり開催します。また、平成22年度グリーン物流補助事業に関する説明も合わせて行います。

九州運輸局メルマガ会員の皆様のご参加をお待ちしております。

詳しい資料につきましては下記URLを参照願います。

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/press100201.pdf>

記

日時：平成22年3月3日(水) 13:30～16:30

場所：ホテルセントラザ博多 3階 花筐の間

プログラム

・13:30

主催者挨拶 九州運輸局交通環境部長 小宮範幸

・13:35～14:25

講演 「味の素グループのロジスティクス その特徴と「重要な」環境、品質への対応」

講師：味の素物流株式会社 事業総括本部事業企画部長 恒吉 正浩 氏

・14:30～15:20

講演 「博運社のエコドライブの取り組みについて」

講師：株式会社博運社 営業本部営業第三部長 兼 環境保全委員長 藤木 和則 氏

・15:30～16:15

「平成22年度グリーン物流事業等について」

講師：経済産業省 商務情報政策局 流通・物流政策室

・16:15～16:25

質疑応答

・16:30

閉会

【現場レポート】

「中国における訪日旅行市場の動向に関するセミナー」を開催！

九州運輸局と九州観光推進機構は、日本政府観光局(JNTO)北京事務所の柏木所長及び上海事務所鈴木所長をお招きし、「中国における訪日旅行市場の

動向に関するセミナー」を開催しました。

九州を訪れる外国人旅行者の状況は、世界経済不況、円高、新型インフルエンザ等の影響により、厳しい状況となっていますが、中国からの旅行者に関しては、昨年7月より個人観光ビザが実現される等、今後増加が期待されており、九州への中国人旅行者増加に向けての取組みの参考となるよう、柏木所長及び鈴木所長に中国における訪日旅行市場の動向についてご講演いただきました。

セミナーでは、中国の訪日旅行市場における旅行者のニーズを的確に把握し、プロモーションを効果的に実施することで誘客の増加に結びつけることや、中国における九州の認知度、関心の度合い、具体的な興味の対象などを判りやすく説明していただきました。

また、セミナーにはYokoso! Japan大使としてご活躍中の町孝氏、甲斐賢一氏が出席され、ご挨拶をいただきました。

セミナーの参加者は当初150名を予定していましたが、中国市場に対する期待のあらわれから、予定を大きく上回る200名以上の参加があり、出席者は熱心にメモを取るなど、非常に充実したセミナーとなりました。

終了後のアンケートも多数の方から提出があり、概ね高い評価をいただきましたが、アンケートでの意見については、今後のセミナーなどの開催について参考にさせていただきます。今後とも、関係機関と協力し、九州への観光客誘致に積極的に取り組んで参ります。

当日の様子は、次のURLからご覧になれます。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_69.pdf

(企画観光部国際観光課)

【九州運輸局セミナー】

クルマの街頭検査にご協力ください！

技術課では、自動車の不具合情報の収集、リコール調査、保安基準緩和車両の認定、街頭検査の実施、車検関連の業務などを行っています。

今回は、特に街頭検査について紹介します。

ひとくちに街頭検査といっても、目的にあわせてやり方をしております。一般の自動車ユーザーに対しては、交通量が多い時間帯に「クルマの点検整備の推進」、「整備不良車の排除」、「トラックなどに使用する不正軽油の排除」についての啓発を目的とした検査を行っています。

運転者は急に停車させられ、何事かとビックリされる方がいらっしゃいますが、多くの方が検査の趣旨を理解していただき、快く検査に協力していただいております。

一方では、「暴走族や旧車會などの悪質な不正改造車の排除」を目的とした街頭検査も実施しています。この検査については、不正改造車両が走行する時間帯に街頭検査を実施する必要があり、深夜から明け方にかけて実施することがほとんどです。

警察により停車させられた車両を検査する訳ですが、そのほとんどは悪質な改造がされており、基準に適合しない車両のユーザーには適合させるための整備を行うことを命令する「整備命令」を交付し車両を改善させています。

ユーザーの中には非協力的な人も多く、職員は気を引き締めて検査を実施し、ユーザーに対応しなければならず、すべての検査が無事終了し帰宅するころには疲れ果てていることもしばしばです。

このように街頭検査については様々なものがありますが、昼夜を問わず「自動車ユーザー及び歩行者の安全の確保」及び「国民の皆様が少しでも快適に過ごせるような環境を保全するため」に実施していることは共通して言えることです。

今後とも関係機関及び警察と連携し街頭検査を鋭意積極的に実施していきます。もし街頭において当局が実施する検査を受ける機会がありましたら、皆様のご協力いただくと幸いです。

(自動車技術安全部技術課)

【リレーコラム】

大分県で連想するもの言えば、皆さん異口同音に「温泉」という言葉が浮かぶのではないのでしょうか。勿論、日本一の生産量を誇るかぼすや関あじ関さばといった海の幸や「2に陥落してしまった大分トリニータもありかもしれませんね。

大分は、別府や湯布院を代表とする温泉郷が県内あちらこちらにあり、源泉数は5,000を越え、泉質も色々と豊富で温泉マニアには温泉の聖地とも呼ばれています。

昨年から人生初の単身赴任生活の私は、この聖地を制覇すべく、自宅に戻らない週末はせっせと温泉巡りを楽しんでいます。

ここで、温泉に関する基礎知識として少し述べますと温泉とは、温泉法によると泉源における水温が摂氏25度以上のものを言うそうで、温泉の種類(泉質表示分類)には、その1kgあたりの含有成分によって単純泉、塩化物泉、炭酸水素塩泉、硫酸塩泉、二酸化炭素泉、含鉄泉、含銅-鉄泉、硫黄泉、酸性泉、含アルミニウム泉(明礬泉等)、放射能泉の11種類があります。

さらに、含有成分の量によって泉質表示が細かく分類されています。

そして、ピリピリ、ヌルヌルを決定する要素としてpH(ペーハー)があります。pH7が中性でこれより値が大きければ、アルカリ性でヌルヌル感が味わえます。

最近、「美人湯」とか「美肌湯」とか言われているのが保湿成分メタケイ酸を多く含む温泉で入浴後しっとり且つツツヤツヤしますので、女性に人気で大分には別府や長湯温泉などにこの成分を多く含む温泉が沢山あり、県内外より女性の方が通われています。温泉に入るときには、脱衣場などに温泉分析書が掲げられていますので、一度見て下さい。そして必ず入湯前に身体を洗いましょう(結構KYなオヤジがいます)。

大分県内には11泉種のうち10泉種(放射線泉を除く)の温泉があり、こちらに来て最初の頃は数をこなそうとがむしゃらに通っていましたが、30泉を超えるあたりから赤・青・白・黒等の色とりどりのお湯を肌で味わい、露天風呂から見る景色を楽しむそして何よりも人との出会いが楽しみになりました。

初対面なのに互いに裸であるため警戒心が無く「こんにちは」の一言から会話が始まり、相手が温泉マン(温泉マニア)であったら何処何処の温泉は、混浴で景色が良かったとか温泉談義に花が咲き、入浴時間が1時間以上となることもしばしばあります。

また、地元の方との出会いもあり、祭り行事の話や地元の情報も教えてもらえ、時には自宅まで案内されて厚かましくも食事まで頂いたこともありました。

ある寅年〇Bの方が、某機関誌に「人との出会いが宝物」と書かれておりましたが、私も同感であり、60歳が直ぐ近くに迫ってまいりましたが、「温泉と人との出会い」をもとめて今後は家内を伴って全国展開を考えております。

最後に地域の温泉をこよなく愛し、訪れる入湯者のためにお風呂の清掃と周辺の美化にご尽力を頂いている皆様へ感謝（合掌）

（大分運輸支局長 安部 伸久）

【編集長だより】

2月に入り気温も心なしか温かくなったようで、梅のたよりも聞かれるようになりました。

梅といえば太宰府天満宮の「飛び梅」が有名ですが、この「飛び梅」は西暦901年菅原道真が京都から太宰府に左遷されたとき、主を慕って一晩のうちに飛んで来たという伝説のある梅です。西暦903年菅原道真が亡くなりその遺骸を牛車（ぎっしゃ）に乗せて運んでいたところ、突然牛が動かなくなりその場所に埋葬されました。その14年後、墓地の上に社殿が建立され、後の太宰府天満宮の起源となりました。

また、太宰府天満宮は学問の神様として菅原道真が祀ってあるため、受験シーズン真只中の今の時期、お参りにくる受験生親子の姿が絶えません。現在では太宰府といえば太宰府天満宮が一般的に知られていますが、太宰府の歴史は古く7世紀後半にさかのぼります。

太宰府が置かれた北部九州の地は日本と大陸の接点に位置し、大陸からの軍事的脅威ばかりでなく外国からの使節を迎えたり、日本から外国への使節を送り出すという対外交渉の窓口となっていました。そのため、日本で一番最初に大陸の進んだ文化、芸術が入ってくる最先端としての地位を築いていました。

太宰府には「太宰府天満宮」の外に「戒壇寺」「観世音寺」や「太宰府政庁跡」等を巡る万葉の歴史に触れる散策コースが設けられています。早春のこの季節お出かけになってはいかがでしょうか。

皆様のお知りになりたい情報・ご意見・ご要望等をお聞かせください。
編集部ではできる限りご要望にお応えしたいと思います。
下記のメール又はファックスからお気軽にお寄せください。

九州運輸局メールマガジン編集長（九州運輸局総務部広報対策官）

森 益隆（もり ますたか）

mail : mm-kyushu@gst.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192

バックナンバーは、次のURLに掲載しています。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/top.html